

# さくら組だより 1月

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。  
新しい年が明け、さくら組で過ごすのも残すところあと3カ月となりました。  
身体も心も少しずつ大きくなっていく子どもたちの姿を、1日1日大切に見守っていきたく  
と思います。

## 今月の目標

- ・身の回りのことを自分から進んで行き、冬の生活の仕方を身につける
- ・お正月遊びや伝承遊びに触れ、友だちと遊ぶ楽しさを味わう



## 子どもたちの様子

### ドキドキの発表会

ひとりひとりができることを頑張りました。

動きやセリフを忘れてしまっても、同じチームの子が教えてく  
れたり、周りを見て思い出したり、みんなが一丸となって劇を成  
功させることができました。恥ずかしくて劇に参加することが難  
しかった子も、歌うことは大好き。ピアノの音が聞こえないくら  
い大きな声で歌っていました。合奏は、音を出さない「うん」の  
ところを合わせる練習をたくさんしました。当日はみんな堂々と  
していて感動しました。



**実験遊び** 洗濯のりと塩でスーパーボールを作ったり、色々なものを水に入れて、  
浮くもの、沈むものを予想したり、ちょっとした実験を取り入れました。

スーパーボール作りでは、のりと色水（塩水）をコップに入れて、混ぜ  
るとドロツとした塊が出てきて、驚きながらも楽しそうでした。

これからも色々な変化を感じ「どうして？」をたくさん感じられる活  
動を取り入れていきたいと思っています。



## ～子どものやる気を育てるために～

年度当初は泣いてばかりだった小さな子どもたちも、幼児さんとしてとてもたくましく成長し  
ました。できることが増え、自分でやりたい！と意欲的な面がたくさん見られます。しかし  
思いがあっても環境が整っていないとやる気も失せてしまいます。特に着替えはみんな一斉に行  
うため、自分ひとりだけ時間がかかると「先生やって！」となりがちです。

本来はできるのに、成長の芽をつぶしてしまうのはもったいないです。子どもの身体に合わせた着脱の  
しやすいものを用意したり、調理活動のエプロンは紐の長さを調節して縫うなど、ちょっとしたことで子  
どもは自分一人でできた満足感と、自分でやってみようという意欲が生まれます。お忙しいと思いま  
すが、進級に向けて成功体験を増やし、自信に満ち溢れたひばり組になれるようご協力をお願いします。